平成30年度石川療育センター児童発達支援事業所評価

平成 30 年 11 月から 12 月にかけて、児童発達支援を担当している職員の自己評価と、児童発達支援をご利用されているお子さまの保護者さま向けアンケートを実施致しました。その結果を公表致します。

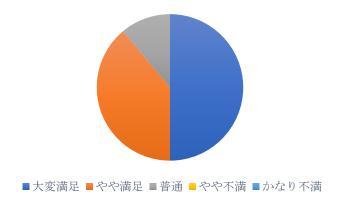
1. 保護者さまのご満足度に関する結果

ご協力くださいました保護者さまは対象者 40 名の内の 36 名で、配布した皆さまからご回答を頂きました。以下に結果の内訳をグラフで示します。

お子さまは療育センターに通うことを楽しみにしていますか



療育センターの支援に満足されていますか

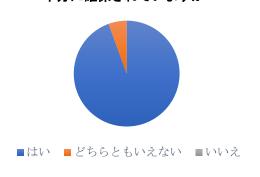


「毎回とても楽しみにしている」「いろんなアドバイスを頂けて、とてもありがたい」等のご記入が多数あり、概ね満足頂いているようです。一方で、利用の回数を増やして欲しいといったご要望や、終了時間が迫るとスタッフが慌ただしくなるといったご意見がありました。なるべく多くの方々に療育の機会をご提供できるように工夫する必要があり、ご利用くださっている方々が満足できる程の回数を増やすことは難しいところもありますが、療育相談と児童発達支援を同時に実施しているケースでは、別々の日または時間にご予約を入れさせて頂き、ゆっくりと長く療育の時間を確保するよう努めて参ります。

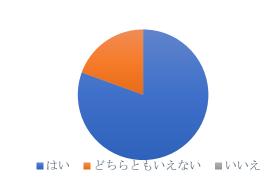
2. 保護者様アンケートの結果

【環境・体制整備】

お子さまの活動に合わせた広さのスペースが 十分に確保されていますか



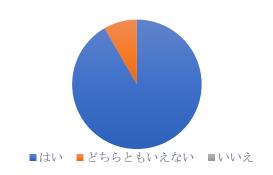
活動スペースは、本人の特性に応じた環境になっていますか



職員の配置や専門性に満足していますか



活動スペースは、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さまの活動に合わせたスペースとなっていますか。



【適切な支援の提供】

お子さまと保護者さまの二一ズや課題が客観 的に分析された上で、児童発達支援計画が作成 されていると思われますか



児童発達支援計画には、「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」の支援内容からお子さまの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、 具体的な内容で作成されていますか



児童発達支援計画に沿った支援が行われてい ますか



活動プログラムが固定化されないよう工夫さ

【保護者さまへの説明等】 支援の内容、利用者負担等についての説明は十 分だと思いますか

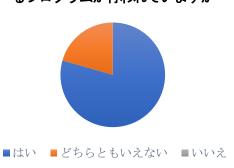


「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容 の説明がなされましたか



■はい ■どちらともいえない ■いいえ

保護者さまに対して家族支援及びそれにあた るプログラムが行われていますか



れていると思われますか



日頃からお子さまの状況を保護者さまと伝え 合い、お子さまの健康や発達の状況、課題につ いて共通理解ができていますか

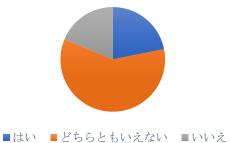


定期的に、保護者さまに対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われていますか

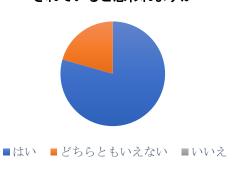


■ (av · ■ 2 9 9 2 9 v · 2 av · ■ v · v · 2

父母の会の活動支援や、保護者会等の開催により保護者さま同士の連携が支援されています か



相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応 されていると思われますか

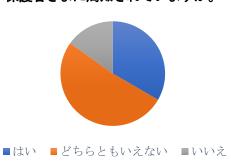


お子さまや保護者さまとの意思の疎通や情報 伝達のための配慮がなされていると思われま すか

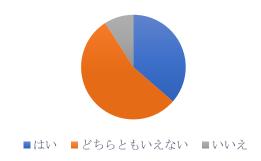


【非常時等の対応】

緊急時対応や感染対応、防犯の各マニュアルは 保護者さまに周知されていますか。



会報やホームページ等を通しての、支援内容や 事業所の姿勢についての情報発信は十分だと 思われますか



個人情報の取り扱いに十分に注意されている と思われますか

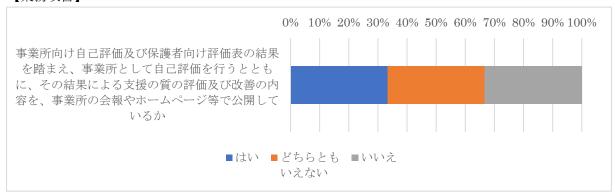


非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、 その他必要な訓練が行われていますか

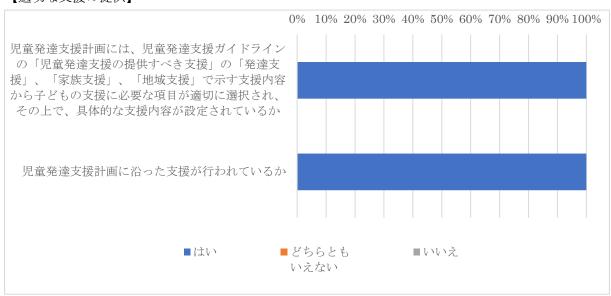


3. 事業所評価アンケートの結果

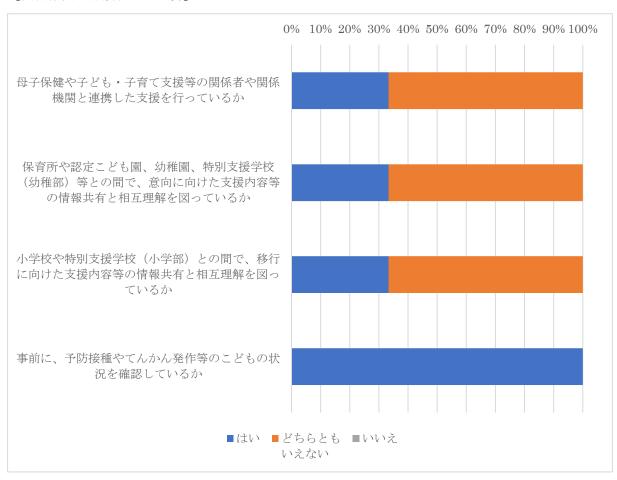
放課後等デイサービスと重複する項目は放課後等デイサービスの事業所評価の結果をご参照ください。 【業務改善】



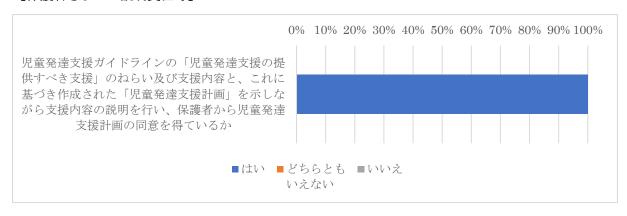
【適切な支援の提供】



【関係機関や保護者との連携】



【保護者さまへの説明責任等】



4. 課題の検討と改善策

事業所評価アンケートの実施順に課題の検討と改善策をまとめました。

【環境体制】

保護者さまから、複数のご意見を頂きました。「玩具の取り合いにならないよう玩具を増やして欲しい」、「1階にトイレがあるとよい、子ども用トイレがあるとよい」、「入口の自動ドアを大人が押さないと開かないようになればよい」です。

玩具のご要望がある時は職員に一声かけて頂き、ご提供するよう対応します。また、トイレに関しては1階にトイレがあり2階にお子さま用の補助便座を準備してあります。入口の自動ドアに関しては、様々な方がご利用されているので、現状では改善は難しくご理解の程お願いしていきます。

【業務改善】

第三者による外部評価の実施が不十分と感じている割合が多かったです。

第三者による外部評価に関しては、現在、行っていませんが、施設全体で検討していくことを代替 えと考えています。

【適切な支援の提供】

保護者さまから、「アドバイス等を紙面で欲しい」、「療育に関しての情報が古い気もするので画期的なことがあるよい」、「変化に対応できるようなプログラムを考えて欲しい」というご意見がありました。

スタッフからは口頭でお伝えすることが多く、紙面が必要であればご要望にできるだけお答えしていきます。そして療育に関する最新の情報を収集するよう努めていますが、より一層、努力して参ります。そして、より丁寧でお子さまに合わせた療育を実施していきたいと考えています。

【関係機関や保護者との連携】

家族支援プログラムについて、より積極的に行う必要があると考えている割合が多かったです。

来年度より療育センターでペアレントトレーニングを実施する計画をしており、保護者さまの支援 にもこれまで以上に力を入れていきます。

【保護者さまへの説明責任等】

定期的に児童発達支援に関する情報の発信を十分とする割合が少なく、保護者さまからも会報やホームページによる情報発信を十分とする割合が少なかったです。保護者さまからは、保護者さま同士の交流にご満足を頂いている割合が少なく、交流会の開催をご要望されるご意見がありました。

広報誌あいじを年間3回発行しています。待合室やロビー、受付においてあるのでお持ち帰り頂きたいです。今後はさらに、児童発達支援のご紹介と活動報告を発信する場を設けていきます。また、 来年度以降に児童発達支援ご利用の保護者さまの会の開催を検討しております。

【緊急時の対応】

保護者さまのアンケートでは昨年同様に、緊急時等のマニュアルの周知と訓練の実施に関して、十分とされる割合が少なかったです。

今年度、避難経路をセラピーの部屋に掲示をしており、防犯マニュアルや感染症対応マニュアルについては、重要事項説明書でふれられています。周知されるよう保護者さまに必要な事項をご説明していきます。また訓練は月に1回実施しており、マニュアル策定は日々行っています。今後はそれが周知されるよう情報を発信していきます。